赤外線式換気連動

IHクッキングヒーター(200V)
取付設置説明書

Panasonic

品番　S52EB1K・S51EB1K・S50EB1K・S49EB1S
S48EB1S・S47EB1S・E47EB1E・S55EB1K・S54EB1K

※品番の先頭には、キッチンシリーズを示す英字2文字が入ります。

取付設置される方へのお願い

- 取付設置前にこの取付設置説明書をよくお読みの上、正しく取付設置してください。
- 排気接続のビルトイン電気オーブンレンジを設置する場合は、必ず電気オーブンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- 取付設置完了後は、チェックリストによる確認・試運転を行ってください。そのあと、取扱説明書を必ずお客様にお渡しし、使い方を説明してください。
- ガス機器から付け替える場合

  ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガス メーター、ガス栓など）を無断で撤去することは、法令により規制されています。

  事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 取付設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 安全上のご注意 必ずお守りください（取付設置上のご注意）

取付設置の前に、よくお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

必ず守る

- **設置は、「取付設置説明書」に従って確実に行う**
  設置に不備があると、漏電・火災の原因。
- **電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
  接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因。
- **200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する**
  この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因。

アース線接続

- **アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う**
- **アースを確実に取り付ける**
  漏電すると、感電の原因。

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない
火災・感電・けがの原因。
・トッププレートや操作部ユニットの分解など

⚠注意

必ず守る

ワークトップは、耐熱材料を使う

メラミン化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の物

耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因 。
※ニス引きのものは変色するため使わない。

禁止

トッププレートに衝撃を加えない

上に乗ったり、物を落とさない

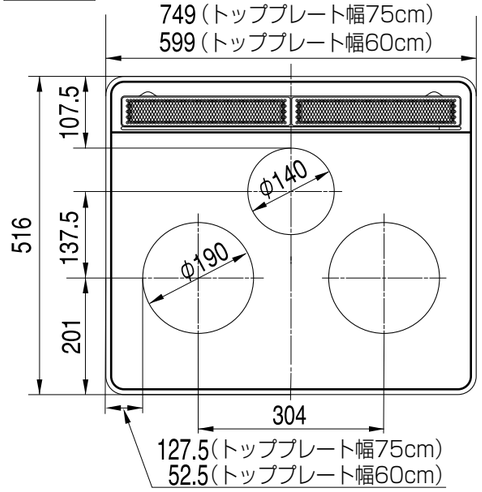
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因。

接触禁止

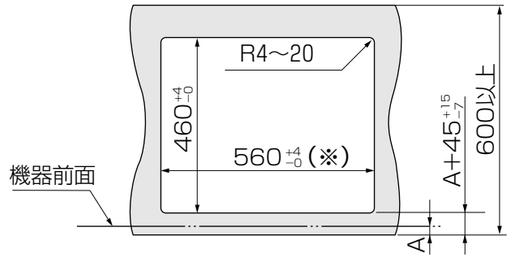
試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない
やけどの原因。

2 外形寸法図（単位：mm）

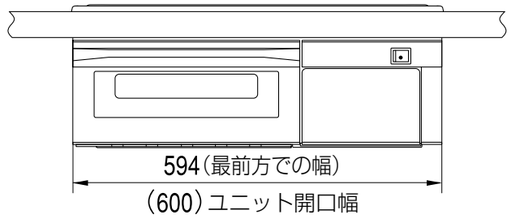
平面図



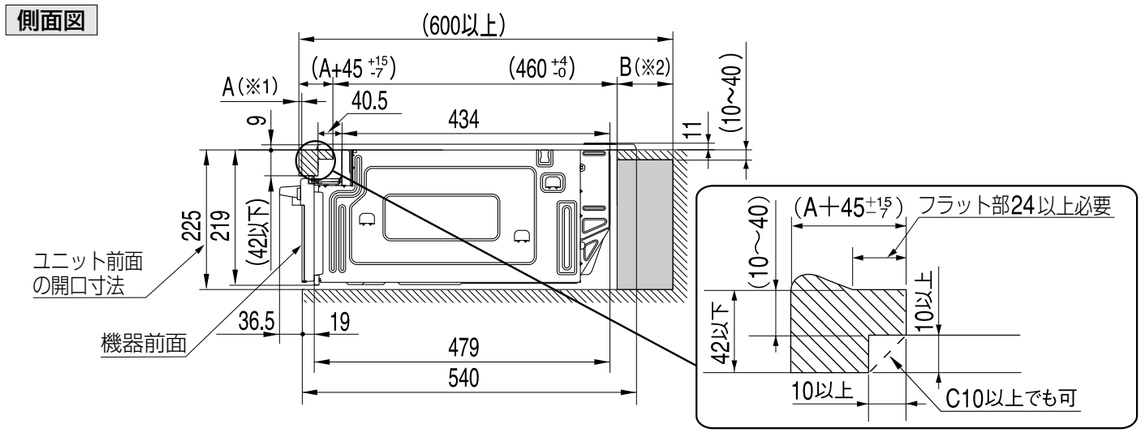
〈取り付け穴〉
（ワークトップ切り込み寸法）



正面図



側面図



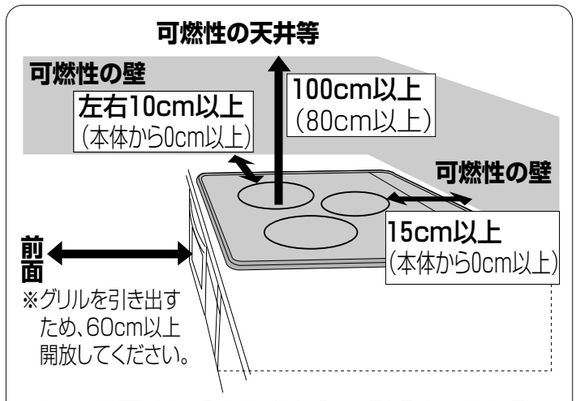
※1：A寸法は、ワークトップ前面とユニット前面（機器前面）との差です。
※2：B寸法（後方スペース）が80mm以上あれば、パナソニック（株）製の露出コンセント（WK36301B）が使えます。
●コード長さ：約0.7m

3 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

壁からの距離

■可燃性の壁(防火構造壁以外)の場合



●(　)内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合

〔消防法 基準適合 組込形〕

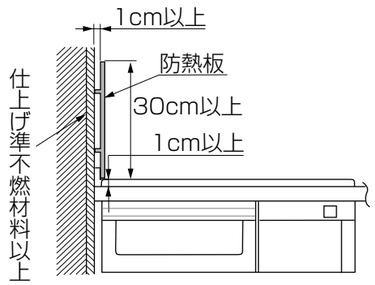
お 願 い

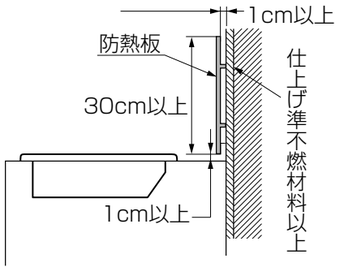
製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合

●キッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準第167条で危害なきよう設置することが定められています。）

■左記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける。





※背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）を中心に左右の位置をそろえてください。

4 電気工事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

●三相200V（動力電源）は使わないでください。
（故障の原因）

■屋内配線用電線

埋込型コンセント	単線直径2.6mm以上
露出型コンセント	単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm²以上

漏電遮断器の設置

●**推奨漏電遮断器**<パナソニック（株）製>

品　番	BJS3022N(HBモジュール) または BSHE23022(コンパクトタイプ)
定格電流	30A
感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極接地用に配線してください。）

■コンセントの種類・位置

●**推奨コンセント**<パナソニック（株）製>

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オーブンレンジ 100Vコンセント	電気オーブンレンジ 200Vコンセント
定　格	単相250V・30A(接地2P)	単相125V・15A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品　番	（埋込型）WF3630B または （露出型）WK36301B	（埋込型）WN1031	（埋込型）WN1932 または （露出型）WKS294

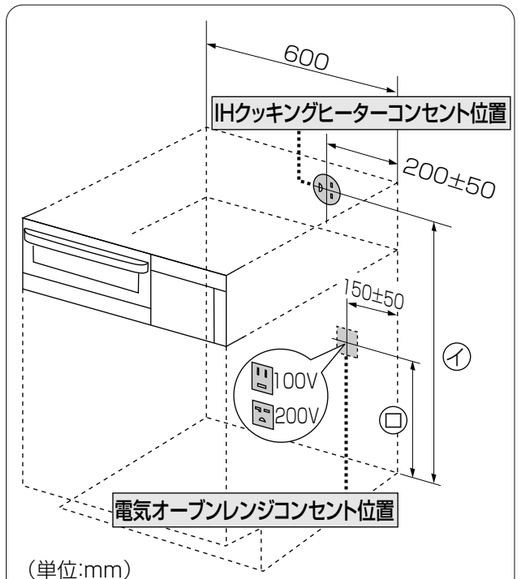
●**コンセントの取り付け位置**

キッチン高さ	IHクッキングヒーターコンセント ㋑寸法	電気オーブンレンジコンセント ㋺寸法
		S39EE1・E39EE1 S40EE1・E40EE1
850mm	700±15mm	490mm
800mm	650±15mm	

●**電気オーブンレンジの設置高さ**

キッチン高さ	S39EE1・E39EE1 S40EE1・E40EE1
850mm	625mm
800mm	575mm

※詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

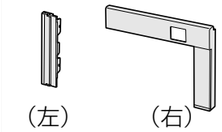
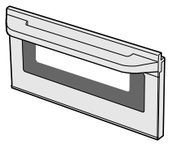
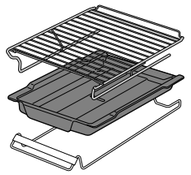
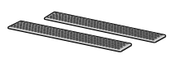


（単位:mm）

5 設置前の準備

止めテープ（グリル、本体操作部、吸・排気パネル）は ワークトップに本体をはめるまで外さないでください。

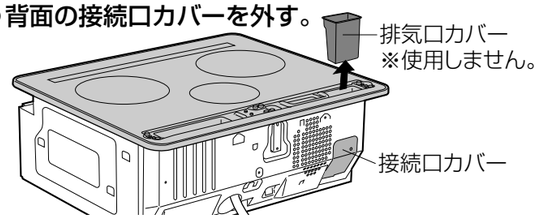
■同梱部品

天ぷらなべ：1個	サイドカバー：各1個  （左） （右） 飾り枠：1個	扉：1個 	焼き網・受け皿 受け皿ホルダー 各1個  グリル内にあります。
			吸・排気パネル 2枚  本体上にテープで止められています。

■排気接続のビルトイン電気オーブンレンジを設置する場合

IHクッキングヒーターに、電気オーブンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。

- 吸・排気パネル（左側）の下にある、排気口カバーを外す。
- 背面の接続口カバーを外す。



- IHクッキングヒーターと電気オーブンレンジの前面の位置をそろえて設置し、IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オーブンレンジの排気口に接続する。

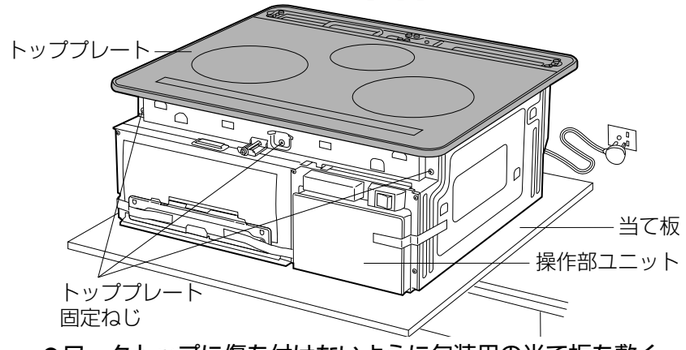
※詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

※上記の電気オーブンレンジを設置しない場合は、排気口カバー・接続口カバーを外さないでください。

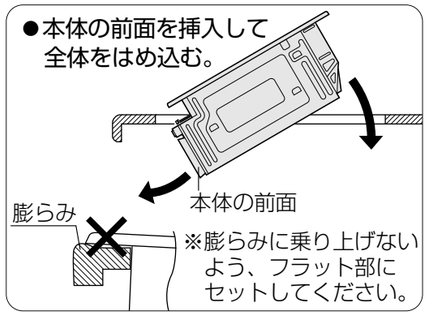
6 本体の設置

トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。（接続線が外れ、故障の原因）

1 電源プラグを差し込み ワークトップに本体をはめ込む



- 本体の前面を挿入して全体をはめ込む。



※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

- ワークトップに傷を付けないように包装用の当て板を敷く。
- 前面をワークトップに当てない。（スイッチの破損や、傷が付く原因）
- 本体底面とユニットの間に、電源コードを挟まない。（本体が浮き、すき間がばらつく原因）
- フレーム下面とワークトップのすき間が、ほぼ均一かどうかを確認する。

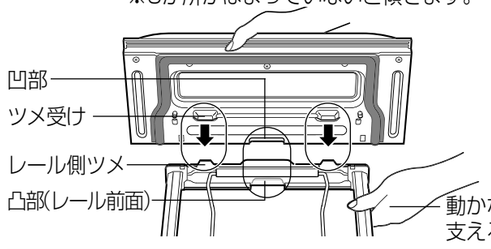
※均一でない場合は

❶本体を取り出し、トッププレート固定ねじ（3本）を緩める
❷トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す（同様に左右のねじも締め直す）
❸再度ワークトップに本体をはめ込み、すき間がほぼ均一であることを確認する

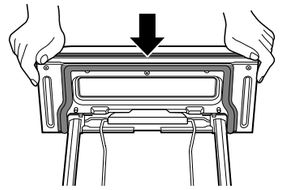
2 グリルの当て紙を外して 扉を取り付ける

❶グリルの下部を持って止まるまで引き出し、受け皿・焼き網を取り出して当て紙を外す。

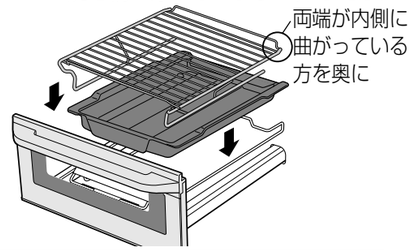
❷真上から、3か所（凹部と凸部・ツメ受けとレール側ツメ）を合わせて「カチッ」と音がするまで差し込む
※3か所がはまっていないと傾きます。



❸確実にはまるように両手で押し込む



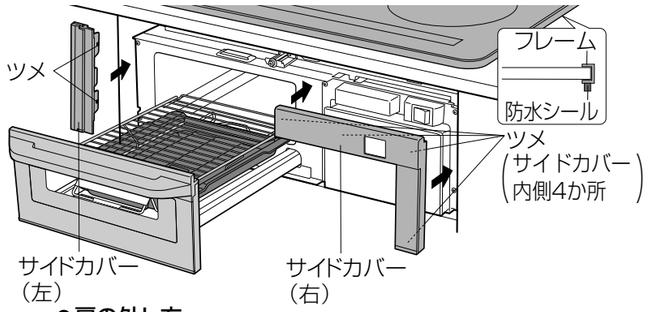
❹受け皿・焼き網を受け皿ホルダーに載せる
※受け皿・焼き網の向きに注意する。
※焼き網は浮かないように押さえる。



3 サイドカバーを取り付け 本体の位置を調整する

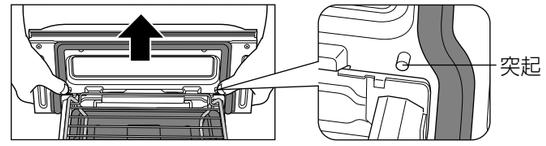
❶本体操作部止めテープを外し、左右側面にサイドカバーを取り付ける（ツメを勘合させる）
❷ユニットとサイドカバーのすき間を左右で均一にする
❸ユニットの扉面に本体前面を合わせる

※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。はみ出した場合は、薄いヘラ状のもので軽く押し込む。
※調整後は、前固定金具を締めるために、扉を外す。

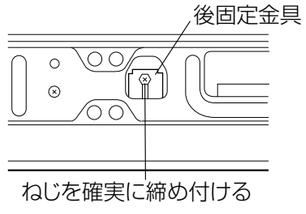


- **扉の外し方**

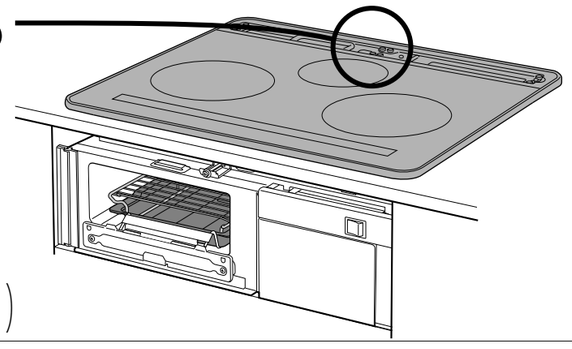
裏側にある左右の突起を押しながら、真上に引き上げる。



4 後固定金具を固定する



（後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定され、シール性が確保されます。）

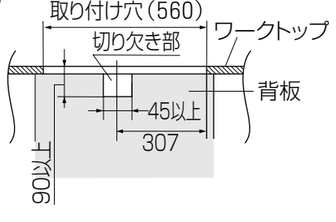


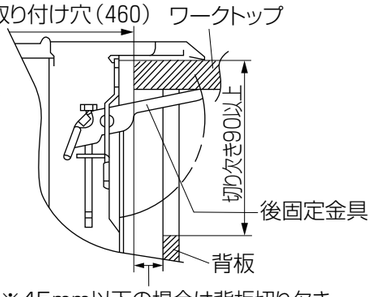
ワークトップの後方に背板がある場合

（背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合）

- 後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設ける。

正面（断面）図





※45mm以下の場合は背板切り欠き

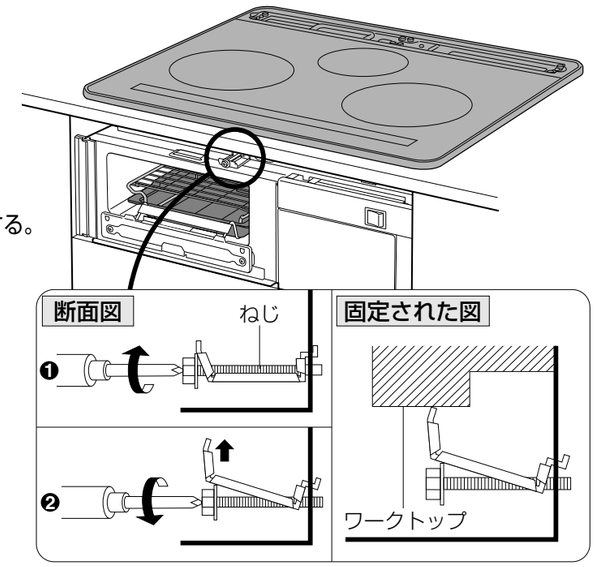
（単位：mm）

5 前固定金具（中央1か所）を固定する

❶ねじを緩めて、前固定金具を緩める

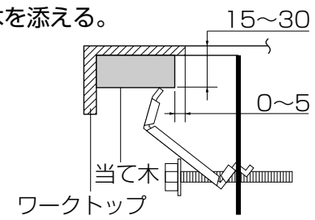
❷前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
  ※先の長い（約70mm以上）ドライバーをお使いください。
- 固定後は、フレームを押して動かないことを確認する。



ワークトップの厚みが薄く、前後の固定金具が固定できない場合

- 当て木を添える。

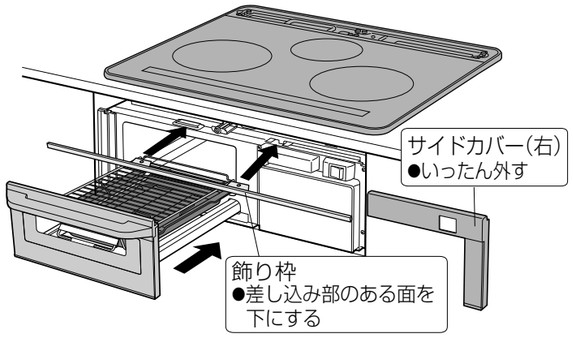


（単位：mm）

7 設置完了後

飾り枠・扉の取り付け

❶サイドカバー（右）を外し飾り枠を取り付ける



- 取り付け後は、サイドカバーを元通りにセットする。

❷グリルに扉を再セットし、奥まで押す

■消費電力の切り換え

出荷時は5,800Wに設定しています。

- 必ず契約容量ブレーカー（契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー）をご確認いただき、総電気容量が60A未満の場合は、消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。

取付設置完了後の確認　次の手順で確認をし、チェック欄に✓印をしてください。

確認項目		チェック
包装材料の取り外し	止めテープ（吸・排気パネル・本体操作部）・グリルの当て紙	
同梱部品などの取り付け	吸・排気パネル・飾り枠・サイドカバー・グリル（受け皿ホルダー・受け皿・焼き網・扉）	
外観	フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出ていないことを確認する	
	トッププレートが汚れていないことを確認する	
電気試験	1 電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときにH20を表示します。 ➡ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。	
	2 電源スイッチを入れる ➡ 通電ランプ点灯	
	3 各ヒーターの作動を確認する ●左・右IHヒーター：ロック解除→切/入 と ロック解除→切/入 ●後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）：切/入 ● 必ず水を入れたなべを置く。（空だきしない） ※付属の天ぷらなべを空だきすると、やけどや、なべの破損・変形、トッププレートを汚す原因になります。 ※なべを置かないと「なべなし自動OFF」が働いて約１分後に自動的に通電を停止します。 ※揚げ物切/入で湯を沸かした場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●なべが熱くなるまで時間がかかる ●U15を表示し通電を停止する ➡ しばらくすると湯が沸く U15表示は揚げ物切/入を押すと消える。	
	4 グリルは本体操作部のグリル切/入を押し、作動を確認する ●受け皿に水（約200mL）を入れて通電する。 ※水を入れないと、「グリル受け皿高温検知」が働いて、U11を表示し通電を停止します。 ➡ しばらくすると庫内が熱くなる U11表示はグリル切/入を押すと消える。	
赤外線式換気連動タイプIHクッキングヒーターを設置する場合	5 レンジフードとの連動を確認する ● 各ヒーターの操作ボタンを「入」にしたとき、レンジフードが同時に作動することを確認する。 ➡ レンジフードが作動する。 ● 全ヒーターの操作ボタンを「切」にしたとき、レンジフードが停止することを確認する。 ※レンジフードの電源が入っていないと連動しません。 ➡ 約3分間運転したあと、停止する。	

■電気試験後は
- 必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 同梱の天ぷらなべを使った場合は、必ず水を捨ててよくふいてください。
- 天ぷらなべ・取扱説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

確認者印

パナソニック株式会社　キッチンアプライアンスビジネスユニット
〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5番1号

© Panasonic Corporation 2008

ZY16-5594
S0806Y5012